

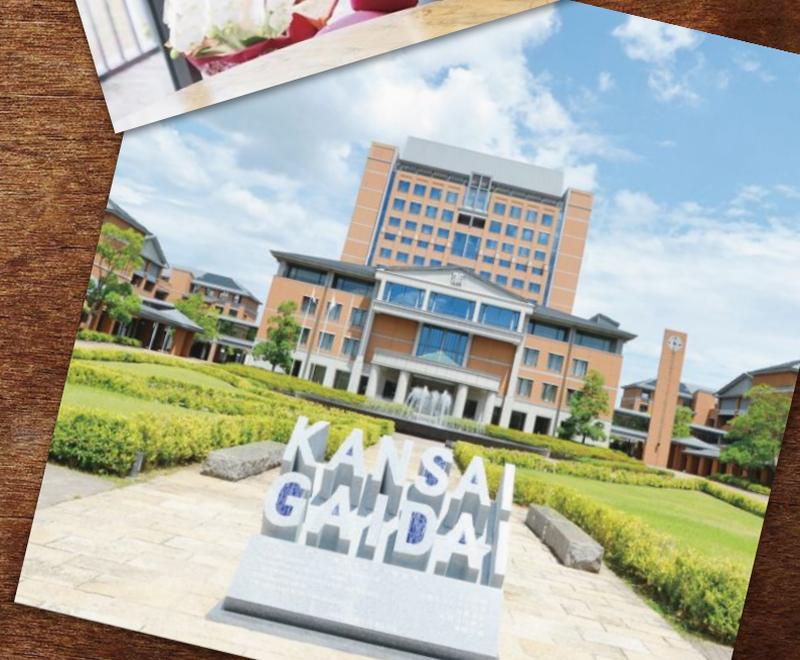
関西外国語大学

ICT・AIを活用した英語教育  
実践事例集

～with Google for Education～

英語キャリア学部教授  
(前文部科学省初等中等教育局視学官)

直山 木綿子



# 直山先生が授業で大切にしている3つのポイント

- ①授業は、指導者と学習者が協力して創り上げるものであるから、どちらかの一方的な情報提供にならないことが大切である。
- ②授業は、学習者の分からないことが分かるようになるものであり、学習者同士で学び合うことが大切である。
- ③指導者は、学習者が分からないことは分からないと言える教室空間を創り、学習者同士が学び合える環境を整えることが大切である。

## 全国の先生方へ

グローバル化社会とは、情報・人・もの・お金が国境を越えて行き交う社会であると認識しています。デジタル技術の進展は、このグローバル化をさらに加速化させています。

このようなグローバル化社会で私たちが豊かに生きていくためには、デジタル技術を効果的に活用する力が不可欠です。すべての子どもたちが、ICT機器を自らの課題解決のために活用できる力を公教育で身に付けさせたいと思っています。

ICTが私の授業観を変えました！



2025.3.15  
オープンセミナーより  
講演の抜粋動画



# 他者参照しながら 授業の振り返り

## 【ねらい👁️】

- ・本時の学びを言語化して、自身の考えを明確にすること
- ・学習者が学び合いを通じて学習集団を創ること
- ・指導者が学習者の学びを把握し、次時の指導に生かすこと

## 【活動内容📝】

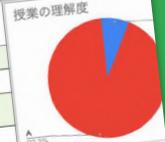
1. クラスで共有したスプレッドシートに授業の理解度を入力  
(リアルタイムでグラフ化される)
2. 他者参照しながら授業の振り返りを入力
3. コメント機能を活用して学生が相互フィードバック

学生同士の相互フィードバックに加え、授業時間内に  
教員が本時の学びを価値づけることで、学生の学習意  
欲が高まり、次時への課題が明確になった。また学生  
の振り返りの様子や内容から、学びが深まったことを  
実感した。

直山先生の  
授業解説★



| 9月19日 |      | 授業の<br>理解度 | 授業内での気持ち・感想   | 疑問・質問                 |
|-------|------|------------|---|-----------------------|
| 学籍番号  | 名前   |            |   |                       |
| 0000  | 0000 | B          | 単語がわからなくても、似た単語やっぽい単語をいうだけで相手も理解をし<br>てくれたりしたので、わからなくても言うことが大切だなと思った。言葉にしてい<br>るうちに思い出すこともあった。自分にとっては簡単な情報でも相手にとっては<br>大切な情報になる可能性がある分言うことが大切だなと思った。                                      | 自分から聞くことも大事 質問することはいじ |
| 0000  | 0000 | B          | 相手の言っていることがわからなければ自分から聞いてあげると相手から答えを<br>出すはずにもなるし、自分の英語の力にも自信をもった。  |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 相手の伝わりにくい時は具体例を変えたりいうことを切実感を持って先述してい<br>ま置き出す方が伝わりやすいかなと思った。昔日頃から英語に慣れるように心がけていこうと思いつくべき単語だけでもいい<br>からまずは単語を覚やして相手に伝える努力をすることが大事だということわ<br>かった。   |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 似たものを英語で伝えるのは難しかった。直山先生が例っていた日本語で英語をつ<br>かすことが英語で伝えるの助けになった。表現するのが難しかったですが、<br>使ったときはイザンプレを出し直さなく、表現するのが難しかったですが、<br>使ったときはイザンプレを出し直さなく、表現するのが難しかったですが、                                   |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 英語でなんと言ったか分からないのがあったとしても、具体例を出しな<br>がらでなんと言ったか分からなくても、自分の英語の力に自信をもった。<br>また言葉で伝えるのが難しかった。相手の伝わりやすさを意識して、<br>状況やイラストを説明するのには難しかった。直山先生が例っていた日本語で英語をつ<br>かすことが英語で伝えるの助けになった。表現するのが難しかったですが、 |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 今日の授業では、絵を説明するのに苦戦しましたが、英語をとてもついたので<br>大丈夫な言葉は、絵を説明するのに苦戦しましたが、英語をとてもついたので<br>大丈夫な言葉は、絵を説明するのに苦戦しましたが、英語をとてもついたので   |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 言葉がわからなくても例えを使って伝えることが大切だと感じました。<br>今日の授業では、フルーツなどは説明しやすかったのですが公算や電卓などのシ<br>チュエーション   |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 単語が思い浮かばなくても、具体例を出して、自分なりに説明できるようにして<br>いた方がいいなと思いました。説明することは伝わらなくても、相手は聞いてく<br>たり、自分から聞いたりして、積極的に聞くことが大切だなと思いました。  |                       |
| 0000  | 0000 | A          | 簡単なイラストでも言葉で説明するのはとても難しかったです。言葉が思い浮か<br>ばないときは、その単語の具体例を出せば相手は伝わりやすいと学<br>ぶことができました。  |                       |



## 【Key word💡】

共同編集、他者参照、一覧化、相互フィードバック、データの可視化



# 音声入力で 英語の発音チェック

## 【ねらい👁️】

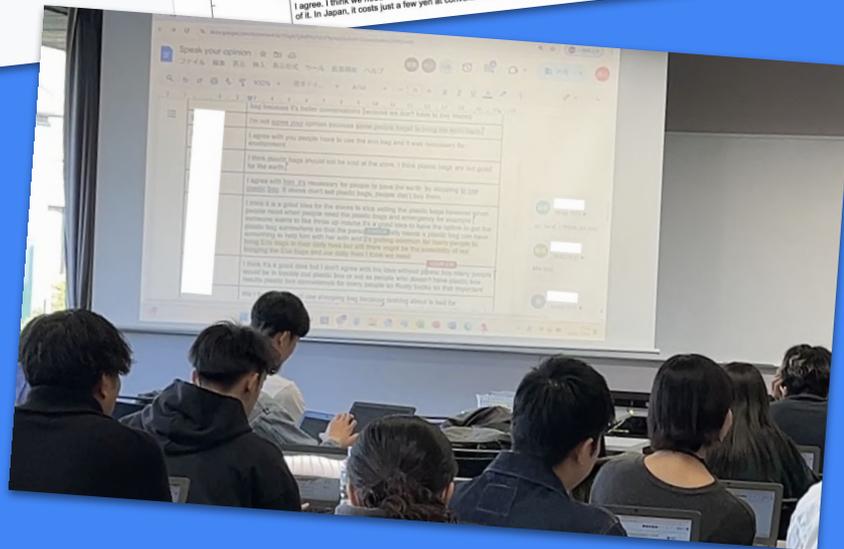
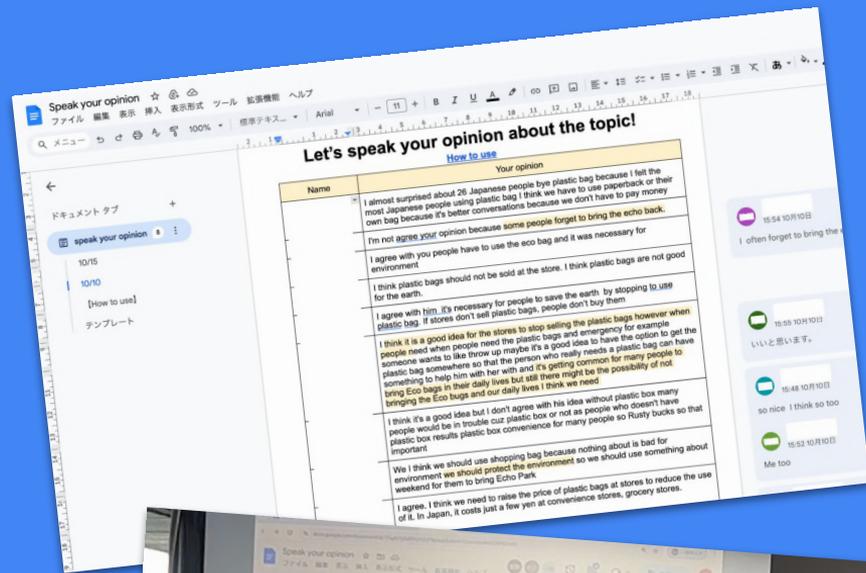
学習者が自身の英語力を向上させるとともに、英語の学び方が  
様々あることを知り、自身に合う学び方を見つけること

## 【活動内容📝】

1. トピックに対する自分の意見を英語で音声入力
2. 音声入力された英語を確認し、正しく発音できたかをチェック
3. 友人の内容確認し、コメント機能で相互フィードバック

学生は自身の英語の発音が相手にどのように聞こえて  
いるかを把握することで、発音、構文、文法などを客観的  
に振り返ることができた。また友人からのフィードバック  
を通して、トピックに対して効果的に意見を表明する  
方法を学ぶことができた。

直山先生の  
授業解説★



## 【Key word💡】

音声入力、相互フィードバック、他者参照、学習記録の蓄積



# 生成AIによる スピーチのフィードバック

【ねらい👁️】

学習者が自身の英語力を向上させるとともに、英語の学び方が  
様々あることを知り、自身に合う学び方を見つけること

【活動内容🖍️】

1. Google ドキュメントにスピーチを音声入力
2. 音声入力された文章を Gemini へ投入
3. Gemini からのフィードバックをもとに  
内容や文法などの見直しを行う

学生は、生成AIが作成した文法上正しい英文と  
自身の英文を比較することで、様々な英語での  
表現方法や言い回しを学び、語彙や表現の幅を  
広げていた。



直山先生の  
授業解説★

【Key word💡】

音声入力、AIフィードバック

英語のスピーチです。フィードバックをください

I think we should stop selling project bags too I have t...

★ はい、英語のスピーチですね。内容を理解し、より効果的なスピーチするためのフィードバックを提供します。

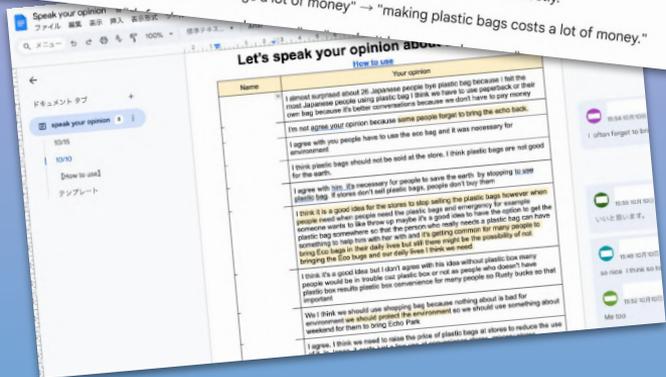
全体的なフィードバック:

- **明確な主張:** あなたの主張は「プロジェクトバッグ（おそらくプラスチック製の袋）の販売を停止すべき」ということですね。これは明確です。
- **理由の提示:** 2つの理由（コストと環境問題）を挙げています。
- **言語の改善:** 文法、語彙、発音の改善が必要です。
- **構成:** スピーチの構成をより明確にすると、聞き手に伝わりやすくなります。

具体的な改善点:

1. 文法と語彙:

- "I think we should stop selling project bags too" → "I think we should stop selling project bags." ("too"は不要です。)
- "it takes a lot of cost" → "It costs a lot of money." または "It is costly."
- "making plastic bags a lot of money" → "making plastic bags costs a lot of money."



# 音声入力しながら 英単語の説明

【ねらい👁️】

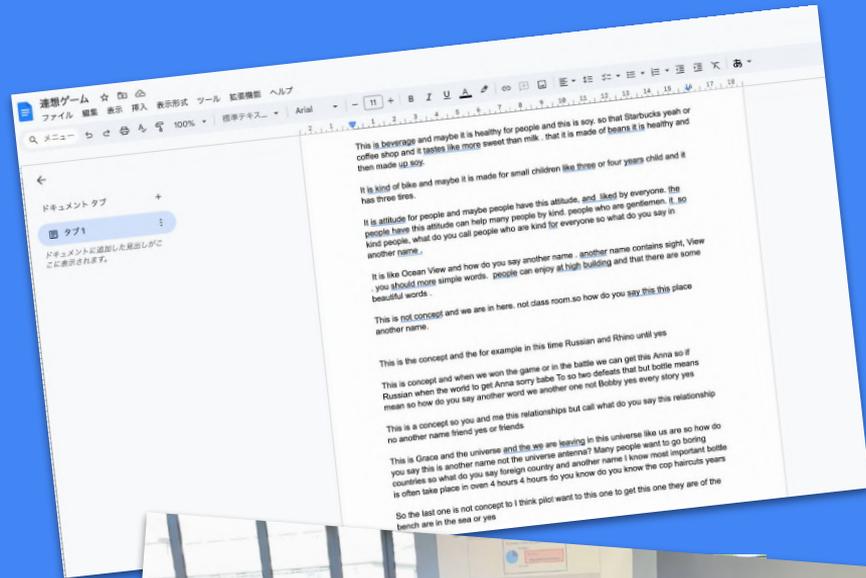
英語で即興的に且つ、適切な質問をする力を身に付けること

【活動内容📝】 学生は出題者と回答者のペアとなる

1. 出題者は、指導者が設定した英単語を音声入力しながら説明
2. 回答者は、説明内容から英単語を推測
3. 学生は、質問内容を客観視して  
分かりやすい説明に必要な要素を分析

学生は、回答者が英単語を推測するために、どのような説明をすればよいかを思考しながら発話していた。友人と自分の説明内容を比較することで、より分かりやすい説明の仕方を学び、具体例を挙げることの重要性を理解していた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

音声入力、学習記録の蓄積

# 音声入力しながら 20 Questions

【ねらい👁️】

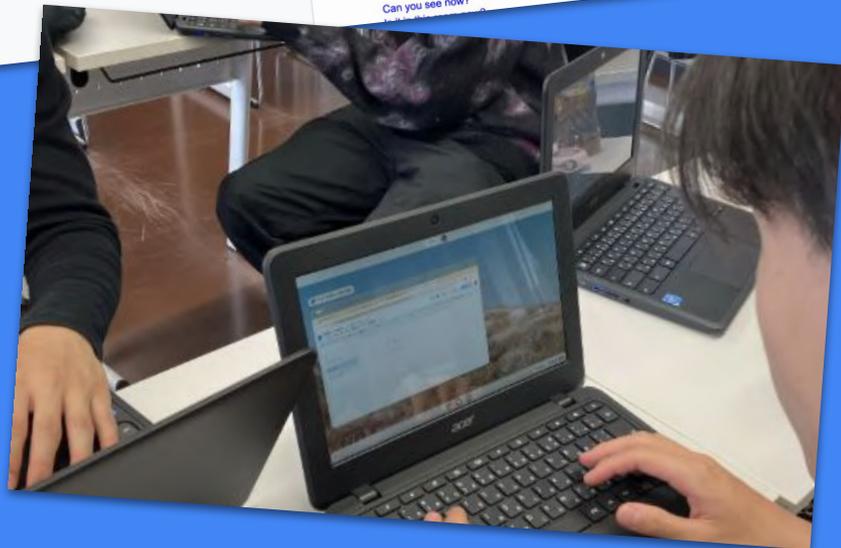
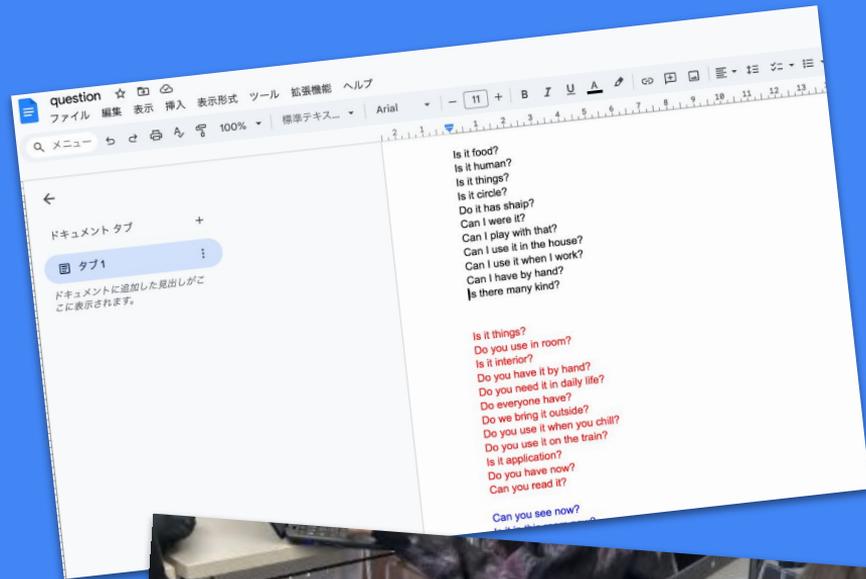
英語で即興的に且つ、適切な質問をする力を身に付けること

【活動内容🖋️】 学生は出題者と回答者のペアとなる

1. 出題者が、英単語をキーワードとして設定
2. 回答者は、キーワードを当てることを目標に、音声入力しながら出題者に質問を繰り返す
3. 学生は、質問内容を客観視して効果的な質問を分析

出題者が設定した英単語を探るため、回答者は即興的に英語で質問を繰り返していた。音声入力した質問内容を共有することで、効果的な質問の仕方を学び合うことができた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

音声入力、学習記録の蓄積



# 生成AIと英会話

【ねらい👁️】

学習者が自身の英語力を向上させるとともに、英語の学び方が様々あることを知り、自身に合う学び方を見つけること

【活動内容🖍️】 ブラウザの言語を「英語」に設定しておく

1. Geminiチャットを開き、音声入力機能でプロンプトを入力してGeminiに話しかける
2. 返答内容を、音声読み上げ機能を使ってリスニング
3. 1と2を繰り返しGeminiチャット上で英会話を展開

学生は自分の発した英語が相手にどう聞こえているかを意識することで、発音、構文、文法などを客観的に振り返ることができた。また日常生活の隙間時間でできる、自分に合った英語力を向上させる方法を探っていた。



直山先生の  
授業解説★

【Key word💡】

個別最適化、AIフィードバック

Hello, Jimmy Nee I'm in a fighter Korea. I'm home in Japan. I studied English very hard.  
How about you?

🌟 Hello there! It's great to hear from you. Fighting Korea sounds like an exciting place to be. 回答案を表示 🔊

I'm doing well, thank you for asking. I've been busy with work and trying to learn new things. How about you? **Have you been studying English for long?** I'm always impressed by people who learn new languages.



🗨️ Gemini へのプロンプトを入力





# 生成AIによる 例文作成

【ねらい👁️】

英語で即興的に且つ、適切な質問をする力を身に付けること

【活動内容🖍️】 学生は出題者と回答者のペアとなる

1. 英単語(routineなどの抽象名詞)の説明を自分で考える
2. 友人に英単語を説明
3. Geminiに英単語の説明の例文を作成してもらい、自分の説明とGeminiの例文を比較

授業では、物質名詞でなく説明の難しい抽象名詞を扱った。学生は説明に苦戦をしていたが、Geminiが作成した説明文を通して、様々な具体例を提示することで分かりやすく説明できることを理解した。



直山先生の  
授業解説★

【Key word💡】

AI、リアルタイムフィードバック

英語で回答してください。  
「routine」を高校生レベルで説明して  
...

◆ Okay, here's an explanation of "routine" without using the word itself, tailored for a high school level:

### Understanding a Set Pattern of Actions

Imagine you have a specific way you do things every day, or at regular times. It's a series of actions that follow a predictable order. That's what we're talking about.

#### Key Ideas:

- **A Consistent Sequence:**
  - It's about having a set of steps that you repeat. Like following a recipe, but for your daily life.
- **Regular Repetition:**
  - These actions aren't random. They happen again and again, whether it's every day, every week, or at other fixed intervals.
- **A Sense of Order:**
  - The order of these actions usually matters. There's a reason you do step one before step two.
- **Familiarity and Habit:**
  - Over time, this pattern becomes very familiar. You might even do it without thinking too



# 友人と共有し 即興で作成した物語を比較

## 【ねらい👁️】

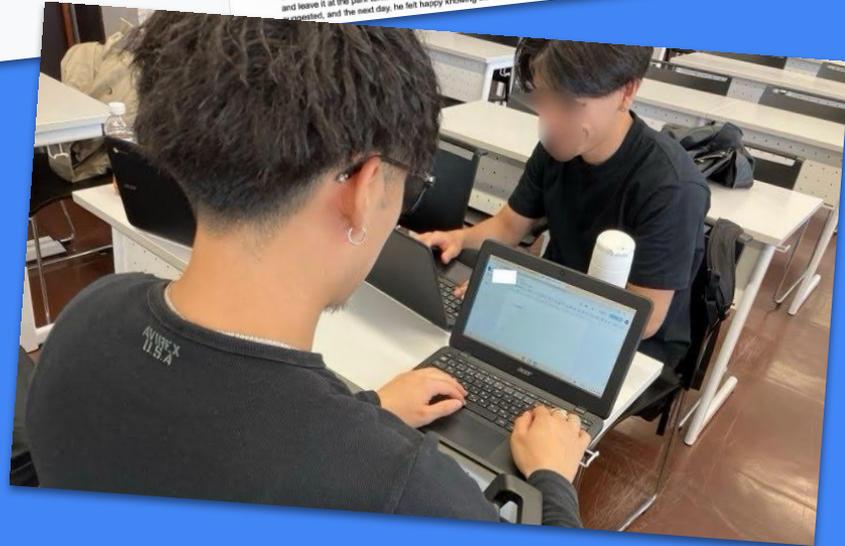
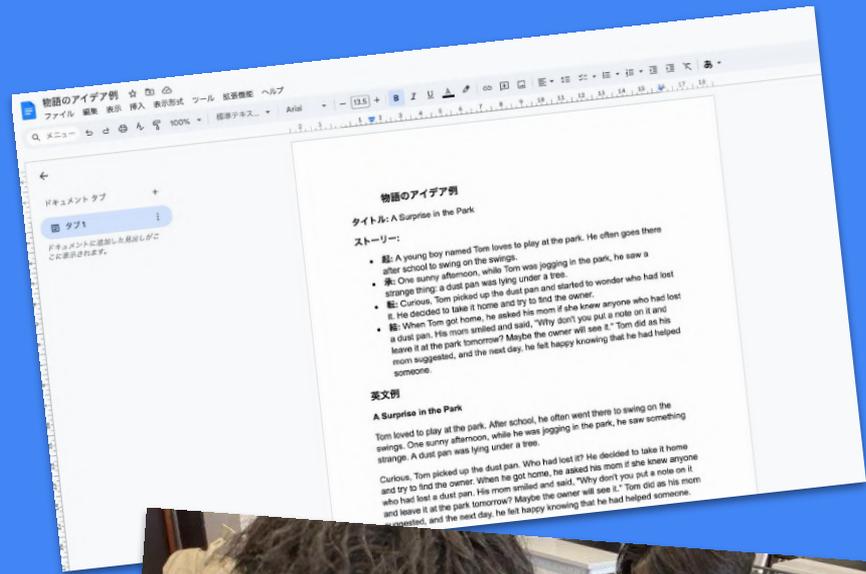
与えられた数単語を用いて、即興的に起承転結のあるストーリーを英語で作る力を身に付けること

## 【活動内容🔪】 学生はペアとなる

1. 指導者が英単語を5つ設定
2. 設定された英単語を使って、ペアで起承転結のある物語を共同編集で作成
3. 他のペアの物語を参照して、自分たちが作成した物語と比較

学生は、与えられた単語を用いて即興的に起承転結のある物語を作成することに苦労していたが、ペアで協力して作成することを楽しんでた。また他のペアが作成した物語を参考にして、様々な発想があることを知り、楽しんでた。

## 直山先生の 授業解説★



## 【Key word💡】

共同編集、他者参照



# ウェビングマップを活用して話す内容を整理

## 【ねらい👁️】

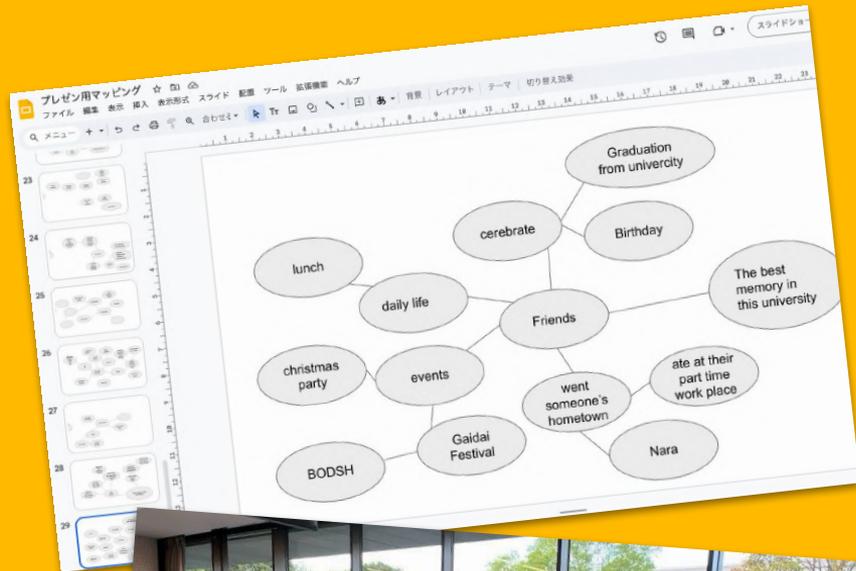
英語で即興的、且つ適切に説明する力を身につけること。またコミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた適切な内容となるようにブラッシュアップすること

## 【活動内容🎨】

1. ペアでトピックについて対話
2. 自身が話したことをウェビングマップにまとめる
3. スピーチ動画を撮影し全体へ共有
4. 友人の動画を確認し、自分のスピーチをブラッシュアップ

学生は、ペアで話したことをもとにウェビングマッピングを作成し、自分のスピーチ内容を整理してブラッシュアップしていた。さらにウェビングマップや動画を共有することで、自分のスピーチ内容のさらなる改善しようとしていた。

直山先生の  
授業解説★



## 【Key word💡】

思考整理、動画作成、他者参照、プレゼンテーション

# フィッシュボーンを活用して 自己紹介スライドを作成

## 【ねらい👁️】

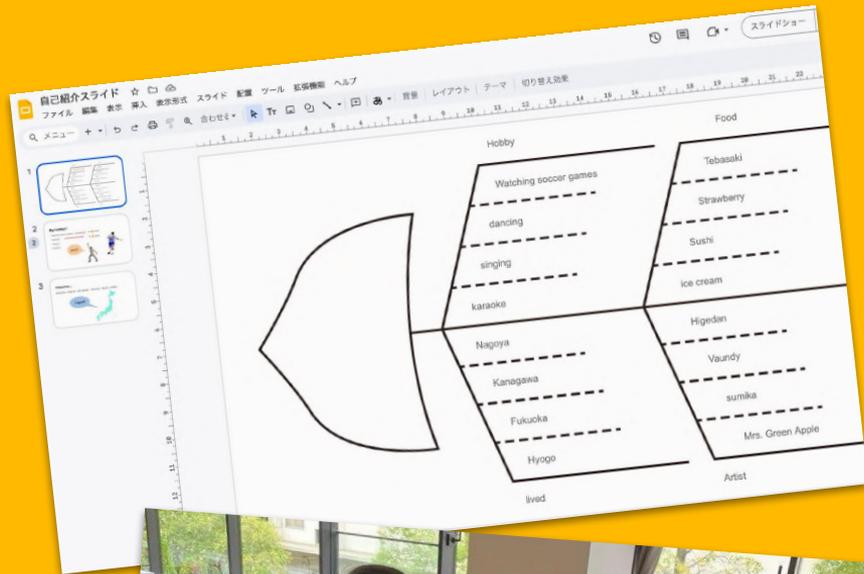
英語で聞いたり話したりする力を付けることや  
適切に説明する力を身に付けること

## 【活動内容🔪】

1. ペアでトピックについて対話
2. 自身が話したことをフィッシュボーンで整理
3. スピーチ動画を撮影し全体へ共有
4. 友人の動画を確認し、自分のスピーチをブラッシュアップ

学生は、話した内容をフィッシュボーンに整理した。またフィッシュボーンやスピーチ動画を共有したりすることで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に  
応じたスピーチ内容にブラッシュアップしていた。

直山先生の  
授業解説★



## 【Key word💡】

思考整理、プレゼンテーション

# KJ法を用いて 意見をまとめる

【ねらい👁️】

学習指導案に必要な要素を洗い出し、構造化することで、学習指導案について深く理解すること

【活動内容🔪】

1. 各個人が学習指導案に必要な要素を付箋に記入
2. グループで議論しながら要素を精選してグルーピング
3. 他のグループの作成したスライドを確認

学生は、グループごとにまとめたスライドを、グループ間で共有することで理解を深めた。要素を構造化しているグループの様子を参考に、他のグループがそれに倣って構造化を始めるなど、学びの深まりが見られた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

思考整理、共同編集、他者参照



# クラスの意見を集約し グラフで可視化

【ねらい👁️】

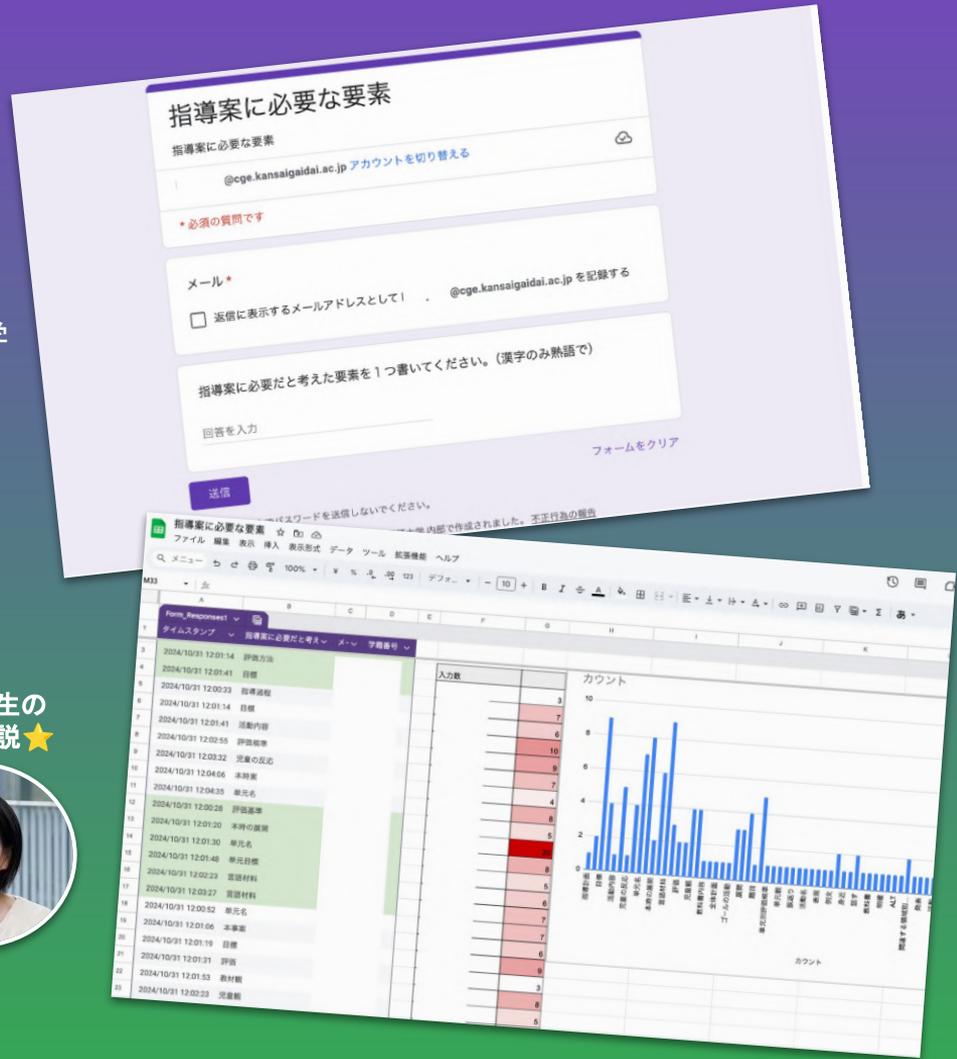
学習指導案に何を記載すべきかを学生自身が自分たちで考え、学習指導案は何のためにあるのかを理解すること

【活動内容🔪】

1. 学生は、Google フォームに学習指導案に必要な要素を入力
2. 教師は、回答結果を Google スプレッドシートに  
エクスポートしてグラフで可視化
3. 教師は、グラフを分析して学生へフィードバック

学生は、複数の学習指導案のモデルを参考に、各自が学習指導案に必要なだと考える要素と、友人の考えた要素を比較し、話し合うことで、学習指導案に必要な要素と学習指導案作成の意図を理解していた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

意見集約、データの可視化

# スピーチの相互評価の結果を個別にフィードバック

【ねらい👁️】

自身の考えや気持ちなどを整理し、  
まとまりのあるスピーチをすること

【活動内容📝】

1. クラス全体の前で1人ずつスピーチを実施
2. Google フォームでスピーチの評価を入力
3. 評価結果を Google スプレッドシートにエクスポートして情報整理
4. 評価結果を踏まえて、最終スピーチを修正して録画

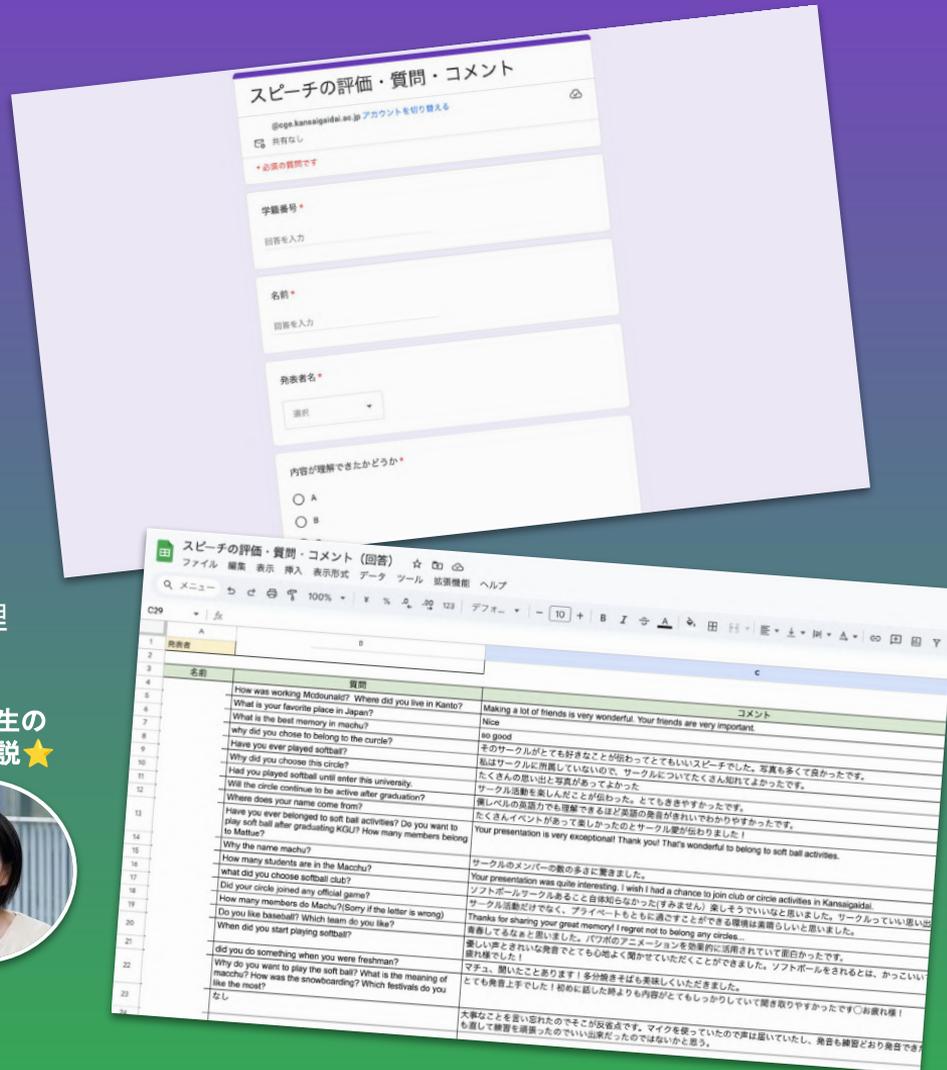
学生は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に  
応じたスピーチ内容や話し方であったかなどを相互  
評価し、スピーチ内容や表現方法を改善することで、よ  
り良いスピーチになるようにブラッシュアップしていた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

意見集約、データの整理、一覧化



# 他者参照しながら 自己紹介動画を作成

【ねらい👁️】

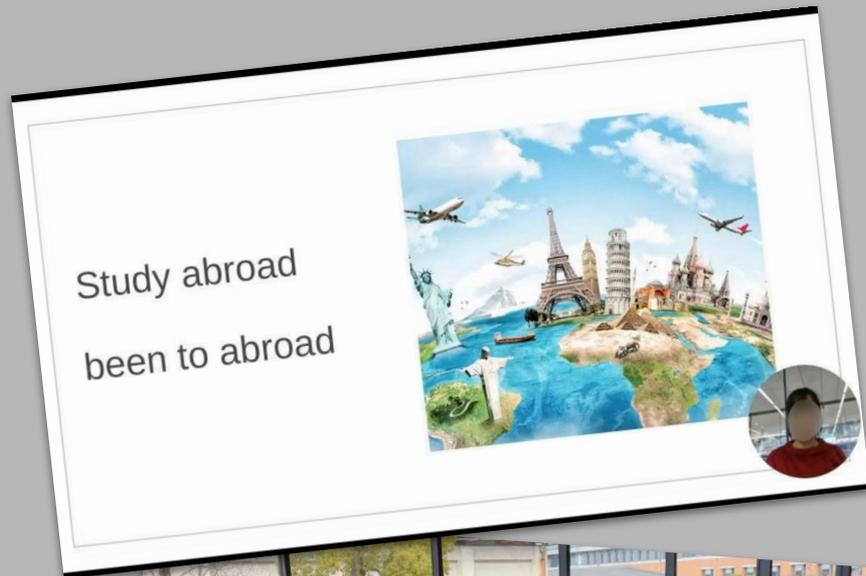
友人に自身のことをよく分かってもらえるような  
自己紹介を英語ですること

【活動内容🖊️】

1. Chromebookのカメラで自己紹介動画を撮影
2. Googleドライブにアップされた友人の動画を確認
3. ブラッシュアップした自己紹介動画を再度撮影

学生は、自分のスピーチ動画を見直したり、友人の動画を参考にしたりして、自分のスピーチ内容や表現方法を何度も修正していた。その結果、最初のスピーチから大きく成長し、見違えるような変容を遂げた。

直山先生の  
授業解説★



【Key word💡】

動画作成、他者参照、メタ認知